

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年6月25日

施設名	高知県立森林研修センター情報交流館	所管課室	木の文化推進室
-----	-------------------	------	---------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成18年8月1日～平成21年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 研修室、木工室、企画展示室、シアターの利用の許可等、許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (2) 研修室、木工室、企画展示室、シアターの利用料金の収受、利用料金の減免、利用料金の還付その他の利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館：木造、平屋建、609.4m ² 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日		
職員体制	常勤職員： 2人	非常勤職員： 1人	合計： 3人

2 収支の状況

単位：千円

		17年度(決算) 1	18年度(決算) 2	19年度(予算)
収入	県支出金	21,544	10,076	14,615
	使用料・利用料金	57	102	74
	その他	0	1,241	1,616
	収入計 (a)	21,601	11,419	16,305
支出	事業費	0	1,591	2,080
	管理運営費	2,031	2,731	4,029
	人件費	19,570	6,676	10,196
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	21,601	10,998	16,305

1：17年度(決算)の支出には、県が直接支払を行っていた、光熱水費、換気施設・火災報知器点検、機械警備委託料等、受託者が直接支払っていた電話使用料等が含まれていない。また、使用料・利用料金には、目的外使用料(共益費)が含まれている。

2：18年度(決算)は、指定管理者が管理運営を行った平成18年8月1日から平成19年3月31日までのもの。

3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績) 3	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	9,978	8,799(6,478)	10,000
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)		
	<p>時期: イベント開催時等 方法: イベント等の終了後、感想文の提出を求めている。対象は、主に小学生。 結果: 「楽しかった」、「今まで体験できなかったことが体験できた」、「森や植物のことがよく分かった」、「機会があればまた来たい」等の感想が寄せられている。</p>		
その他	<p>イベント終了後、感想文に寄せられた意見や反省点等の整理・検討、構成団体相互の意見交換による情報の共有を行い、サービスの向上に努めている。また、感想文以外にも、利用者への声かけにより意見を聞くことで、次につなげるように心がけている。</p>		
その他特記事項	<p>イベント開催時や、学校等が大人数で来館した際には、指定管理者の構成団体のボランティアスタッフも加わって対応し、利用者へのサービスの向上に努めている。また、計画的な企画展の開催、イベントの案内については直接学校に出向き説明をしたり、ホームページで参加を呼びかけるなど、利用者の増に努めている。</p>		

3:年間利用者数の18年度実績について、()は指定管理者が管理した平成18年8月1日から平成19年3月31日までの実績

4 平成18年度業務評価

項目	状況説明
適正な管理運営の確保	清掃、施設管理等が適切に行われている。職員配置については、常勤職員2名、非常勤職員1名のローテーション勤務により適正に配置されている。個人情報については、個人情報保護に関する規程を整備し、個人情報の保護に努めている。
利用者サービスの維持向上	企画イベントの実施や、利用者の感想文による利用者意見の把握、イベント終了後の打ち合わせ等での課題や改善点の整理、学校等の大人数での利用に対し構成団体のボランティアの応援による対応等、サービスの維持向上に努めている。
利用実績	積極的な企画イベントの実施等により、指定管理者として管理運営を行った期間について、平成17年度の同時期6,741人に対し18年度は6,478人と、前年度並みの利用実績を確保できた。
収支の状況	平成18年度の指定管理者による管理運営期間が、平成18年8月1日から平成19年3月31日の8ヶ月間であったため、単純に比較ができないが、エアコン、館内照明のこまめな調整による節電により、経費節減に努めた。また、利用料金(17年度は使用料)は17年度59千円から、18年度は102千円に増加し、指定管理者制度導入前にはなかったイベント参加料等のその他収入として1,241千円を上げた。
総合評価	A 当初計画を上回るイベントの実施や、積極的なPR活動、参加料等の一定の収入の確保や経費の節減等、優れた管理運営がなされた。

[評価の目安]

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの